



上小っ子

一人一人を大切にする学校づくり 小・中学校合同校内研究会

上野原小学校・上野原中学校は、両校共に「一人一人を大切にする学校づくり」を目指しています。そこで、11月15日(水)にコミュニケーション能力を育てる数々の実践で著名な教育実践研究家の菊池省三先生を招いた小中合同校内研究会を実施しました。当日は、小学校は5年1組で、中学校は2年A組で、菊池先生の道徳授業を行いました。菊池先生は子どもたちの具体的行動をほめながら「一人一人違っていい」「やる気」「切りかえスピード」等といった価値を学級で共有し、子どもたちの意欲的行動を促す様子が見られました。放課後は小中学校の教職員が一堂に集まり、「一人一人(の違い)を大切に協働する授業・学級づくりのための教師のあり方」をテーマに合同研究会を行いました。菊池先生の授業から、子どもたちの学習意欲を高め、子ども同士の関係を深めコミュニケーション能力を育てる働きかけについて、小・中学校の教職員で学び合いました。子どもたち一人一人を大切にする教育を両校で協働して進める契機になりました。

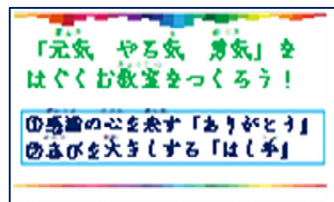
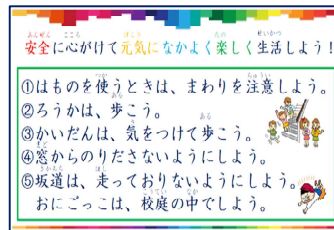


2学期のゴールに向けて、安全・安心な学校生活を!

子どもたちが元気に生活するために、日頃から安全に留意することが大切です。そこで、学校生活の様々な場面を想定し、子どもたちが安全に生活するために心がけることをまとめた動画を作成し全校で確認する機会をつくりました。「教室」「廊下」「階段」「窓」「外遊び」「登下校」といった様々な場面の中で、自分の安全、みんなの安全を守るために心がけてほしいことを確認しました。

また、11月29日の学校集会では、校長より、2学期のゴールに向けて「元気 やる気 勇気」をさらに育むために正義のヒーロー「アンパンマン」とその作者の「やなせたかし」さんの話をしました。やなせさんは「人が一番うれしいことは、人を喜ばせること」と考えたことを紹介し、上小でみんなの喜びがさらに増すように①感謝の心を表す「ありがとう」の言葉、②喜びを大きくする「拍手」を心がけようと働きかけました。

2学期のゴールを目指し、子ども同士のあたたかい人間関係をはぐみながら、子どもたちの「元気 やる気 勇気」をさらに育てていきたいと思ひます。



学校八重山の日

本校には、卒業生の水越八重さんから1929年に寄贈された約30ヘクタールの学校林(八重山)があります。この学校林を活用した教育プログラムが「八重山プログラム」です。「自然に親しむ活動・自然を知る活動・自然を守る活動」を発達段階に即して教育課程に位置づけ、主に生活科・総合的な学習の時間に学習しています。帝京科学大学、森林組合、上小元校長中込一雄先生に「八重山プログラム」の運営にご協力いただいています。水越八重さんの誕生日の11月22日を「八重山の日」としています。八重山を誇りに学習を進めています。

児童会役員選挙

児童会役員選挙は、来年度の児童会活動のリーダーを決める選挙です。

11月29日(木)の1校時に児童会役員選挙立会演説会を実施しました。インフルエンザ対策のためにオンライン立会演説会となりました。立候補者は上野原小のリーダーとなって上小をさらによくしようという思い・考えを堂々と伝えることができました。画面越しでしたが、立候補者の強い思い、立候補者を応援する責任者の思いが伝わりました。「楽しい学校、上野原」を目指して、全校でがんばろうとする気持ちを高める契機にもなりました。

4年生 八重山学習

